

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 7 月 14 日(水) ~ 平成 22 年 7 月 20 日(火))

平成 22 年 7 月 21 日  
宇宙開発委員会事務局

- アストリウム社、ESA の電子時計集合体「ACES」の開発を受注  
【欧】

7 月 19 日(月)、アストリウム社は、ISS に搭載する ESA の電子時計集合体「ACES(Atomic Clock Ensemble in Space)」の開発を ESA から受注したと発表した。契約金額は 3500 万ユーロ。同契約に基づき同社は、ACES のフライトモデルの開発、JAXA の宇宙ステーション補給機(H- Transfer vehicle:HTV)による打上げのための ACES の統合、地上施設の設置、地上の参照時計ネットワークの確立、ISS に搭載される ACES のペイロードおよび 2 基の電子時計(高精度セシウム原子時計「PHARAO (Projet d'Horloge Atomique par Refroidissement d'Atomes en Orbite)」、水素メーザ原子時計「SHM (Space Hydrogen Maser)」)と地上局との間のマイクロ波交信を実施する。ACES のペイロードおよび電子時計は 2013 年秋に打ち上げられ、ISS の欧州実験モジュール「コロンバス(Columbus)」の外部に設置される予定。

- JAXA とアジア開発銀行(ADB)の協力関係の締結について  
【亜】

7 月 21 日(水)、JAXA と ADB は、災害管理・気候変動・森林監視・水資源管理への衛星技術の活用促進に関して協力関係を締結することで合意し、マニラでの調印式に立川 JAXA 理事長と黒田 ADB 総裁が協力意向書に署名した。